

自分たちのまちは自分たちでつくろう

ふしおだい

コミュニティ

日本初・池田発
地域分権
ふしおだい
コミュニティ誌

Vol.20

発行：ほそごう地域（伏尾台）コミュニティ推進協議会 池田市伏尾台3丁目4-1-114／平成31年3月

さようなら平成時代。
まちづくりも新しい春を迎えます。

平成最後のこの一年は、多くの自然災害に見舞われた年でした。
伏尾台地区でも影響があり、ますます防災への意識向上が課題となりました。
住民参加による元気なまちづくりをめざす「コミュニティ推進協議会」の取り組みと、
新元号とともに変わろうとしている新しいまちづくりの展望をお知らせします。

〈今号の表紙〉

多目的施設として動き始めている旧伏尾台小学校

改修工事を終えた小学校（南校舎）の跡地活用の実験として、
1～3月に「創生会議」が企画開催した「土曜祭」の様です。
車のお絵描き、モデル作り、フリマ、音楽ライブなど
親子で楽しめるさまざまなイベントを土曜日に開催。
カフェの利用者も多く、「まいど楽しい」にぎわいを見せました。



科学実験アラカルト



ファミリーコンサート



カーデザイナーと一緒に絵描きとモデル作り

防災、子育て、お年寄りの健康…みんなで助け合い、「みんなで育むまちづくり」のご協力に感謝いたします。

「コミュニティ推進協議会」が支援しました下半期の主な活動のご報告です。地域の活性化に対する各グループの地道な活動と、参加していただいた住民の皆さまのご支援に感謝いたします。



①伏尾台合同防災訓練&ほそごう秋まつり

11月4日(日)同時開催!
午前9時30分から開始された合同防災訓練には、約300名の幅広い世代の方々が、ほそごう学園に集合。消防署の協力による避難誘導や救護、消火、炊き出し訓練などを体験。防災意識の向上とともに、おいしく炊けた豚汁を試食しながらの交流も。とくにほそごう学園の8年生は全員が参加し、地域住民との交流に大いに貢献してくれました。午後1時から開催されたほそごう秋まつりは、野球教室やバスケットボール体験をはじめ、プラスバンドやコーラス、太鼓集団「疾風」の演奏も。地域の皆さんの力作ぞろいの作品展示の鑑賞やフリマ、古本市、カフェなども多くの人でにぎわいました。

②子育て支援活動

②子育て支援活動: コミプラ内の支援ルームは、子どもたちの遊び場でもあり、お母さん同士の交流の場として活用されています。里帰りのお孫さん連れでもぜひどうぞ。(※利用日時やイベント告知などはコミプラ内の掲示版をご覧ください。)

③ファミリー・サポート 会員募集説明会

③ファミリー・サポート「援助会員」募集説明会: 10月19日(金) コミプラにて開催。育児の援助を「受たい人」と「行いたい人」をつなぐ育児支援ネットワークの会員さんを募集する説明会を実施。伏尾台地区では、子育て支援ルームでもお世話が可能になり、複数名の援助会員さんが登録されています。(主催: いけだファミリー・サポートセンター)

④山びこ寄席

④山びこ寄席: コミプラにて2回開催。11月10日(土)は、林家菊丸、月亭天使のお二人。2月2日(土)は林家染左、林家染八に、はやしや香穂の三味線も交えて明るい笑い声につつまれました。

⑤星空観望会

⑤星空観望会: 12月1日(土)と3月1日(金)に旧伏尾台小学校にて開催。まだまだ寒い夜でしたが、「星のおっちゃん」こと西川先生の楽しい解説に、40~50名の親子連れ参加者も目をキラキラ。ホットココアのうれしいサービスも好評でした。

⑥高齢者の居場所づくり意見会

⑥高齢者の居場所づくり意見会: 2~3月にコミプラにて随時開催。60歳以上の方を対象に、夕食をとりながら交流を深めていただき、これからのまちづくりや居場所づくりについてご意見を聞かせていただいた会合です。(※今後の予定につきましては掲示板などの案内をご覧ください。)

⑦「地域交通の未来を考えよう」公開講座

⑦「地域交通の未来を考えよう」公開講座: 3月12日(火) コミプラにて開催。大阪大学の土井教授をお迎えして、世界の最先端の地域交通に関するお話をいただきました。さらに参加者による伏尾台地区での地域交通の課題や、持続可能な施策についてのワークショップを実施。実現に向けてのさまざまなアイデアが発表されました。(主催: 株式会社Momo、共催: 大阪大学土井研究室)

NEWS & TOPICS • NEWS & TOPICS

「創生会議 2020」から生まれた地域創生プランが、いよいよ実現に向けて動き始めています。

2016年1月にスタートした創生会議のプランの中から、旧伏尾台小学校の跡地活用と地域交通の推進事業が動き始めます。HPなどの広報活動も含めて事業の具体化をすすめるため、3月末で「創生会議 2020」の役目は終了します。

旧伏尾台小学校跡地を「はぐのさと」として運用開始!

国の補助金による南校舎の改修工事は、地域創生事業の実施場所としての利活用が目的。そこで次世代に向けての魅力的なまちづくりを考えながら、住民の皆さんの多目的施設としての活用方法を、コミュニティ推進協議会が中心となって推進していきます。(※事業内容につきましては、今後の広報をご覧ください。)

地域内交通を見直す「シェアリングエコノミー」実験の報告

総務省の推進事業に応募し認可された池田市の社会実験が、伏尾台で実施されました。10月22日~12月21日の2か月間、伏尾台地区限定で利用代金は250円。利用者会員登録は115名、利用者は延べ51名。運行管理者および運転手として13名のボランティアに参加いただきました。こうした実験をもとに、新年度からとくに高齢者の交通便の施策の実現をめざしていきます。

「(旧)府立池田北高校の施設利活用意見交換会」開催

昨年3月に閉校しました池田北高校は大阪府の所有ですが、池田市として利活用に関する地域の皆さんの意見を集約したいということで、2月3日と3月3日、3月31日に意見交換会が開催されました。多数の参加者から幅広いアイデアや意見が寄せられました。(主催: 池田市総合政策部)

コミプラ内にて「コンビニ端末」が稼働中!

マイナンバーカードが必要ですが、住民票や印鑑証明書などの各種証明書の発行が可能です。その他コピーや写真印刷のサービスもお気軽にご利用下さい。

新しい時代にむけてのまちづくりに取り組む「コミュニティ推進協議会」についてお話しします。

「自分たちのまちは自分たちでつくろう」を目的に、平成19年度に池田市でスタートした地域分権制度も新しい時代を迎えました。同時に、ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)の活動も、新しいステージを迎えています。地域住民が自発的に組織として話し合い、市に対して事業提案するこの制度は、年間600~1000万円*の「予算要望権」が与えられています。より良いまち作りの実現には多くの住民の要望が必要ですので、皆さまの積極的なご意見とご参加をお願いします。(※制度の内容や各校区の見込みは、池田市のホームページをご覧ください。)

- ◎平成30年度役員名簿
- 〈会長〉 田井恵美子 〈副会長〉 川野芳紀・竹之下恭子
 - 〈事務局長〉 春山俊一 〈会計〉 内藤健一 〈監事〉 国重和雄
 - 〈部会長〉 野口修・竹之下伸治・青木清男・谷口重久

平成31年度:提案事業について

平成30年10月28日に開催されたコミュニティ推進協議会総会にて、下記の通り事業内容が審議・可決されました。3月の市議会にて可決・承認されました。

事業内容	概要	予算
協議会拠点運営事業	協議会活動及び地域分権制度のPRを目的とする活動拠点の運営を行う	1,980,000円
コミュニティサロン設置事業	多世代交流の場としてコミプラを設置運営する	600,000円
まちの情報センター運営事業	地域の情報やボランティア情報の収集発信を行い、コンビニ端末を維持する	600,000円
子育て支援環境整備事業	子育ての環境改善と保護者たちの交流を支援する	780,000円
防犯カメラ維持管理事業	地域内に設置した防犯カメラの維持管理	96,000円
AED管理事業	地域内に設置したAED機器の消耗品交換	10,000円
協議会事務事業	協議会の運営上必要な庶務経費と活動周知の事務費	100,000円
安全パトロール実施事業	地域内の安全パトロールを実施し、地域の安心安全の向上を図る	450,000円
防犯防災啓発事業	地域住民の防犯・防災に関する意識向上を図るため、訓練やパトロールを行う	200,000円
地域コミュニティ紙等発行事業	コミュニティ推進協議会の活動を広く地域住民にPRする広報紙を全戸配布する	300,000円
地域行事等活動促進事業	地域の夏祭りや秋祭りの開催を支援する	350,000円
伏尾台地区活性化事業	住民を対象にしたコンサートなどイベントを開催して住民間交流を図る	300,000円
ほそごう地域花いっぱい運動支援事業	ほそごう学園の3、7年生の花の育成・配布活動を支援する	25,000円
市民レクリエーション大会事業	地域住民の運動会などの開催を支援する	200,000円
高齢者の居場所づくり事業	高齢者の交流促進のための意見交換会など、イベントを開催する	200,000円
伏尾台創生会議2020宣言広報事業	子育てにやさしいまち宣言の広報のためのライトアップ設備を維持管理する	25,000円
掲示板整備事業	北中央公園前バス停に掲示板を設置する	160,000円
地域整備事業【積立】	多世代交流施設の設置や公園整備事業のために積み立てを行う	5,865,000円
	合計	12,241,000円

募集

青パト活動にご協力下さい。

伏尾台の安全パトロール隊である通称「青パト」は、ボランティアさんが毎日交代で巡回しながら、地域のさまざまな安全を見守ってくれています。まだまだスタッフが不足していますので、隊員としてのご協力をお願いいたします。（※お友達やご家族のペアで乗車していただける方も歓迎です。）



その他のボランティアさんも募集中です。

◎ 「コミプラ」 お世話係さん・お掃除係さん

休憩や打ち合わせなどに使用できるコミプラ内のフリーサロンで、1回2～3時間のお世話係さん、閉館後のサロンやトイレのお掃除係さん。

◎ 「山びこフェスタ」 運営スタッフさん

年間4～5回開催されるコンサートや落語会などのイベントの準備をサポートしていただける方。

◎ 「広報誌」「ホームページ」取材スタッフさん

広報紙「ふしおだい」、HP「伏尾台で暮らす。」に掲載する情報の取材や撮影などのスタッフさん。

お問合せ・お申し込みは

伏尾台3丁目4-1-114 コミプラの常駐スタッフにお申し付けいただくか
ファックス (072-743-6384) にてご連絡ください。



「ご意見ポスト」「募金箱」のご案内

コミュニティ推進協議会へのご入会、ご意見、ボランティア・スタッフさんの参加などにつきましては、コミプラ内の「専用ポスト」または常駐スタッフにお申し付けください。
また、コミプラ内に募金箱を設置しています。コミプラでのイベント等活動にご支援ご協力をお願いいたします。



ホームページ「伏尾台で暮らす。」のご案内

 伏尾台のまちの情報を幅広く掲載していますので、ぜひご覧ください。
ホームページ「伏尾台で暮らす。」はこちらをご覧ください。



「コミプラ」はコミュニティ推進協議会の拠点であり、住民の集いの場。

伏尾台コミュニティプラザの略称「コミプラ」は、地域分権を推進するための拠点として平成27年度に開設され、4つの機能を備えた施設として活用されています。お気軽にお立ち寄りください。

①子育て支援ルーム

伏尾台の子育て支援サークルが定期的に使用。

②フリーサロン「山びこ」

休憩、学習、イベントなど世代を超えた住民交流の場。

③まちの情報センター

伏尾台の最新情報やボランティア活動の紹介・募集などを掲示。

④コミュニティ推進協議会の事務所

事務作業や各種会合に使用。管理者も常駐。



開館時間：平日午前10時～午後6時
※土日祝・年末年始は休館